

# Clinicopathological Features and Computed Tomographic Findings of 52 Surgically Resected Adenosquamous Carcinomas of the Lung

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2014-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 渡邊, 敬夫 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001578">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001578</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1515 号

## Clinicopathological Features and Computed Tomographic Findings of 52 Surgically Resected Adenosquamous Carcinomas of the Lung

(肺腺扁平上皮癌 52 切除例における臨床病理学的特徴及び CT 所見の検討)

渡邊 敬夫 (わたなべ ゆきお)

博士 (医学)

### 論文審査結果の要旨

本論文は、肺腺扁平上皮癌が中心型において扁平上皮癌に特徴的な閉塞性肺炎病理像を呈し、腺癌成分優位群において肺胞上皮置換性増殖を伴う腺癌に特徴的な腫瘍周囲の GGO の CT 像を呈しており腺癌と扁平上皮癌の二つの上皮系腫瘍の特徴を合わせもつ事を報告している。又 5cm を越える最大腫瘍径に加え、腫瘍周囲の炎症性変化を伴う CT 所見が各々独立した予後因子となる事を初めて明らかにした臨床的に意義のある論文である。

本論文では、臨床経過が他の肺癌組織系と比較し進行が早く予後不良と言われている肺腺扁平上皮癌 53 例中、術前薄切 CT を施行した 52 症例を対象に、臨床病理学的特徴及び胸部 CT 所見の研究に加え、腫瘍の局在部位及び腺扁平上皮癌における腺癌成分含有率の臨床における効果を検討している。全肺癌の 0.4~4.0% という希な腫瘍に関して 52 例を集約し検討している点は評価できる。

腫瘍の CT 所見に関して、腫瘍辺縁・腫瘍内部・背景肺毎に詳細に検討されている。

又病理所見に関しては、浸潤形式 (血管・リンパ管・胸膜浸潤等) に加え、腺癌・扁平上皮癌成分の含有率に着目し、同時に術前診断が試みられた症例の検討も行われており独創的で興味深い視点を与えている。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。